

検討会の設立趣意書・規約について

国道2号 コネクトパーキング宮島整備事業計画検討会 設立趣意書

トラック運送業界は、国民の暮らしと経済を支える国内物流の基幹的役割を担うとともに、大規模な自然災害が発生するとその機動力を発揮して迅速かつ的確に物資輸送にあたるなど、国民のライフラインとしての役割を果たしている。

一方、不規則な就業形態や長時間労働等を背景にドライバー不足が深刻化し、また、2024年4月からは年960時間の時間外労働の上限規制が適用され、労働関係法令を遵守しながら現水準の物流を確保する必要があり、物流の効率化、長時間労働等の改善に向けた働き方改革の取組を速やかに実施する必要がある。

この取り組みの中で、特に中間地点付近でトラクター交換やドライバー交代などを行う「中継輸送」は、ドライバーの労働環境の改善や法令遵守に大きく寄与する取組みとなっている。

上記の背景を踏まえ、関係者とともに専門的・学術的見地から幅広い意見交換を行い、中継輸送機能を確保した物流輸送拠点整備の事業計画をとりまとめるとともに具体的な施設計画や管理運営手法等について検討することを目的として、本検討会を設立するものである

国道2号 コネクトパーキング宮島整備事業計画検討会 規約

(趣旨)

第1条 本規則は、「国道2号 コネクトパーキング宮島整備事業計画検討会」(以下、「検討会」という)の委員、組織、会議、庶務その他検討会の設置等について必要な事項を定めるものである。

(目的)

第2条 本検討会は、国道2号の廿日市市佐方における物流輸送拠点の整備について事業計画のとりまとめや具体的な施設計画、管理運営手法等について検討することを目的とする。

(検討会の委員及び組織)

第3条 委員は、広島県の交通工学や都市計画・地域計画等の実情に精通した、公平な立場にある有識者およびトラック業界に精通した協会、関係自治体とする。

2 検討会の構成については別紙のとおりとする。

(外部からの意見聴取)

第4条 検討会での検討事項に応じて委員長が必要と判断した場合、外部専門家の意見を聞くことができる。

(検討会の事務局)

第5条 検討会の事務局は広島国道事務所計画課とする。

(委員長)

第6条 検討会には、委員の互選により委員長をおく。

2 委員長は、会務を総理し検討会を代表する。

3 委員長に事故があるときは、委員長が指名する委員がその職務を代行する。

(雑則)

第7条 この規則に定めるものその他、検討会の議事手続き、その他運営について必要な事項は委員長が定める。

(附則)

この規約は、令和5年 3月 14日から施行する。

この規約は、令和6年 2月 20日から施行する。

国道2号 コネクトパーキング宮島整備事業計画検討会
委員名簿

氏名	所属・役職等	出欠
藤原 章正	広島大学大学院先進理工系科学研究科・副研究科長 教授	○
伊藤 雅	広島工業大学工学部環境土木工学科 教授	○
森井 茂人	中国トラック協会 専務理事	○
田村 幸太郎	西日本高速道路株式会社中国支社企画調整課 課長	○ (代理)
亀岡 敬和	国土交通省中国地方整備局道路部道路計画課 課長	○
金納 聰志	国土交通省中国地方整備局広島国事務所 所長	○
田中 幸久	国土交通省中国運輸局自動車交通部貨物課 課長	○ (代理)
西川 貴則	広島県道路企画課 課長	○ (代理)
池下 由晃	廿日市市建設部 部長	○
河崎 博文	広島県警察本部 交通部 交通規制課 課長	○

(敬称略)

コネクトパーキング宮島の整備に関する検討会 (第3回)

| 目次

■ 1. 第2回検討会までの振り返り	・・・ P. 2
■ 2. 報告・審議事項	・・・ P. 8
■ 【報告】ドライバーアンケート調査等の結果	・・・ P. 9
■ 【報告】コネクトパーキングの検討状況	・・・ P. 15
■ 【報告】防災機能に関する検討状況	・・・ P. 19
■ 【審議】マーケットサウンディング（MS）調査概要	・・・ P. 21
■ 3. 今後の進め方	・・・ P. 27

1. 第2回検討会までの振り返り

整備検討の背景

コネクトパーキング宮島整備計画（概要）一部加工して再掲

- ・物流の担い手であるトラックドライバーの働き方改革を進めるため、国土交通省では「ホワイト物流推進運動」を展開。
- ・そのような中、2024年度からはトラックドライバーに時間外労働の上限(休日を除く年960時間)規制も適用されることとなっており、物流機能の維持のためには、中継輸送の普及が急務。
- ・このため、令和4年3月に、関西一九州の中継地点である広島県廿日市市(宮島SA)で中継輸送の実証実験を実施。

■検討の背景

■政府計画

・総合物流政策大綱(2021年度～2025年度)

今後取り組むべき施策として、「中継輸送の普及」が位置づけられている。

○労働環境改善に資する幹線輸送の更なる推進
　ドライバーの拘束時間の短縮や日帰り運行を実現する「中継輸送」の普及・実用化に向けて、トラック事業者の中継輸送の取組を促進する。

○新たな労働力の確保に向けた対策

女性や若者、高齢者等の多様な人材の確保・育成が図られるよう、働き方改革を推進し、多様な人材が活躍できる職場環境を整備する。

日帰り勤務を可能にする中継輸送の普及を推進する。

(出典)総合物流政策大綱(2021年度～2025年度)抜粋

・ホワイト物流推進運動

ホワイト物流とは、私たちの生活基盤を支える物流業界の深刻な人手不足を受けて、トラック輸送の生産性を向上や物流の効率化を実現し、トラック運転者の負担を減らそうという国土交通省自動車局等が取り組んでいる運動。

- ①トラック輸送の生産性の向上・物流の効率化
- ②女性や60代以上の運転者等も働きやすい、より「ホワイト」な労働環境の実現 など

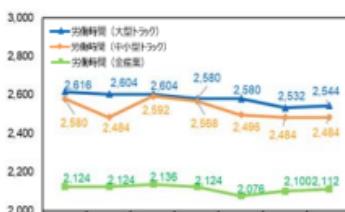


■物流に関する施策や制度

■物流業界を取りまく環境

・物流の担い手であるトラックドライバーの不足は深刻で、その労働条件や労働環境の改善が不可欠。トラックドライバーの年間労働時間は全産業平均に比べ2割程度長い。

トラックドライバーの年間労働時間



(出典)全日本トラック協会(2021)「日本のトラック輸送産業現状と課題」

■物流の2024年問題

・2024年度からトラックドライバーに時間外労働の上限(休日を除く年960時間)規制※が適用。

※違反すると企業に対し6ヶ月以下の懲役又は30万円以下の罰金

・荷待ち時間減少などの対策を行わなければ、約14.2% (4.0億トン)の輸送能力が不足するとの試算もある※。

※(株)NX総合研究所 評算

トラックドライバーの働き方改革

法律・内容	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
時間外労働の上限規制(年720時間の適用)	大企業に適用	中小企業に適用					適用
時間外労働の上限規制(年960時間の適用)(自動車運送業法)							適用
年休5日取得義務化	適用						
月60時間超の時間外割増賃金引き上げ(25%～50%)の中小企業への適用							適用

(出典)持続可能な物流の実現に向けた検討会

■実証実験

■中継輸送拠点実証実験(宮島SA)

・令和4年3月1日～11日に、関西地方と九州地方の中間にあたる山陽自動車道 宮島SA(広島県廿日市市)で中継輸送の実証実験を実施。

・参加したドライバーからは「拘束時間が減少される」「日帰り可能のため、車中泊の負担が軽減される」等の声が寄せられた。

位置図

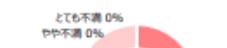


ドライバー交換方式



ドライバーアンケート結果

<満足度>



※ 企業が満足・やや満足と回答。日帰り可能・車中泊の負担軽減などの効果を実感。

<良かった点>



ドライバーの声



- ・拘束時間が短くなり仕事が楽になる
- ・毎日自宅に帰りたい人により、慣れた道路のため安全性向上
- ・導入を待っています
- ・とても良かったです

第1回検討会について

- 第1回は設立趣意書・規約、コネクトパーキング宮島の整備計画（案）について検討し、委員からの了解を得た。
- 将来技術や周辺環境・施設との連携等について留意しながら整備計画を進めていくこととした。

コネクトパーキング宮島整備事業計画検討会（第1回）

- ・ 日時：令和5年3月14日（火）
- ・ 場所：広島国道事務所

議事概要	設立趣意書 規約	<ul style="list-style-type: none">・ 設立趣意・規約（案）について委員の了解を得た。・ 張委員を本検討会の委員長とする。
	整備計画	<ul style="list-style-type: none">・ 整備計画について、委員の了解を得た。・ 事業の実施にあたっては以下の事項に留意しながら進めていく事。<ul style="list-style-type: none">- ダブル連結トラックも各社で普及してきているため、留意していただきたい。- 山陽道からのアクセス等も構造上の確認など含め検討すべきである。- 施設の運用についても周辺施設との連携も視野に入れた方が維持管理- 運営は検討しやすいと思われる。
	主な意見	<ul style="list-style-type: none">・ 若年層は働き方について日帰りなどができる求められているため中継輸送の取り組みは重要である。・ 宮島SAや他のSA含め、休憩と中継の機能の役割分担ができるよう考える。・ 今後の検討にあたっては、利用される物流企業の参画も視野に入れたほうがよい。

- ・物流業界の「2024年問題」に対応するため、働き方改革に向けた取組みを速やかに実施する必要がある。
- ・令和4年3月の実験結果を踏まえ、本格的な中継拠点となる「コネクトパーキング宮島」を整備することで、ドライバーの労働環境の改善を推進する。

■コネクトパーキング宮島整備計画の概要

1. 事業概要

- ・整備箇所
広島県廿日市市佐方
・延長:約1.0km



図1 広域位置図



図2 周辺位置図

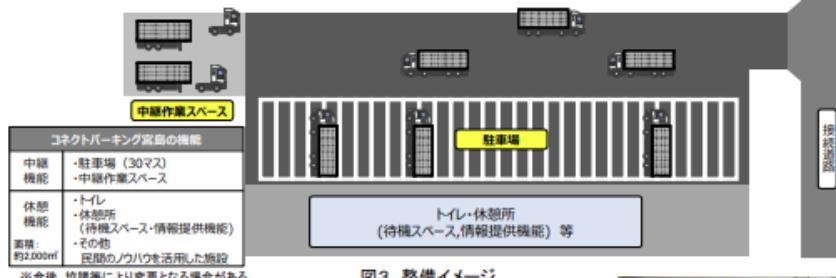


図3 整備イメージ

- ・管理運営方法は、PFI・コンセッション（公共施設等運営権）制度等の活用も念頭に入れ、効率的・効果的な管理・運営を検討予定。（図4、5）

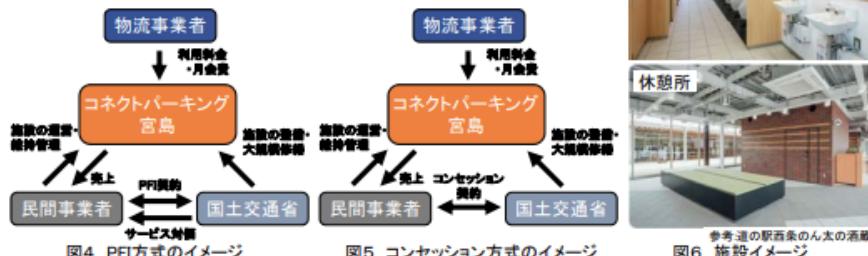
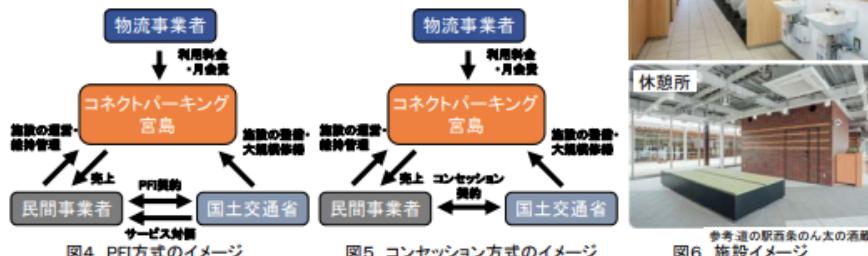


図6 施設イメージ

2. 課題

①働き方改革・2024年問題※への対応

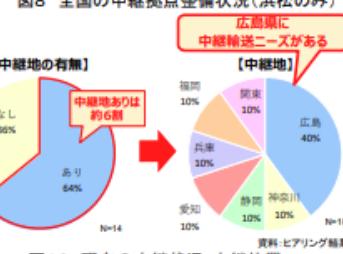
- ・労働時間の上限規制を遵守しながら現在と同水準の物流を確保するための施策として、一つの行程を複数人で分担する「中継輸送」が期待されている。（図7）

※2024年問題とは、働き方改革関連法によって2024年4月1日以降自動車運転業務の年間時間外労働時間の上限が960時間に制限されることによって発生する問題の総称のこと



②中継輸送拠点の不足

- ・現在、国内で幅広い主体が利用可能な中継輸送拠点は静岡県のコネクトエリア浜松のみ。（図8）
- ・中継輸送の普及には、更なる拠点の整備が必要。



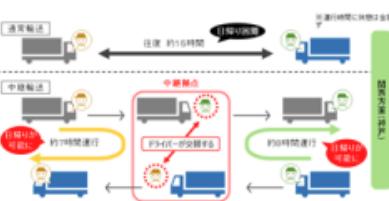
3. 整備効果

効果1 トラックドライバーの労働環境の改善

- ・中継輸送の活用によって、運行時間の短縮や、日帰りできる乗務が増加することで、労働環境の改善や新たな人手の確保が期待される。

効果2 中継輸送ニーズへの対応

- ・ニーズの高い広島県内かつ高速道路直近である当該箇所に中継拠点を整備することで、九州～関東や九州～関西の輸送で中継輸送が実施しやすくなる。



第2回検討会について

- 第2回は必要な施設機能については継続して検討すること、駐車マス数についてニーズ調査結果を反映させることを前提に委員の了解を得た。
- 周辺施設との連携やドライバーのニーズについて留意しながら整備計画を進めていくこととした。

コネクトパーキング宮島整備事業計画検討会（第2回）

- ・日時：令和6年2月20日（火）
- ・場所：中国地方整備局 建政部 3階会議室

議事概要	設立趣意書 規約	<ul style="list-style-type: none">・ 設立趣意・規約（案）について委員の了解を得た。・ 第2回検討会より、藤原委員を委員長とする。
	合意事項	<ul style="list-style-type: none">・ 必要な施設機能について、委員の了解を得た。ただし、機能分担等については継続して検討する。・ 駐車マス数の整備方針について、ニーズ調査結果を反映させることで委員の了解を得た。
	検討事項	<ul style="list-style-type: none">・ ダブル連結トラックやフルトレーラーの将来的なニーズを踏まえた検討を行う。・ ニーズ調査で、想定される利用状況について確認し、コネクトパーキング宮島として必要な機能やドライバーが働きやすい環境整備を検討する。
	主な意見	<ul style="list-style-type: none">・ 周辺施設の状況を加味した、機能の役割分担について引き続き調整する。・ 現在、混雑している国道2号佐方SAの機能について、併せて調整する。・ 交通安全や防災機能の確保という観点について確認する。

第3回検討会の報告・審議事項

- 第2回検討会を踏まえた課題のうち、管理運営及び設計に関する内容について、報告・審議事項とする。
- 一部項目については次回以降報告を行う。

対応	内容
報告事項	<ul style="list-style-type: none">● ドライバーアンケート調査等の結果： 令和6年5月より、魅力的な施設機能について検討するためにドライバーアンケートを実施 令和7年10月より、中継輸送拠点の管理運営事業への関心等について事業者ヒアリングを実施● コネクトパーキングの検討状況： フルトレーラー、ダブル連結トラックに対応した駐車マス及びアクセスルートの検討状況● 防災機能に関する検討状況： 広島県の救援拠点や廿日市市の緊急避難場所より防災機能の必要性を整理
審議事項	<ul style="list-style-type: none">● MS調査の実施内容： 維持管理・運営の公募条件を検討するために実施するMS調査の目的、対象者、意見の募集内容

2.報告・審議事項

【報告事項】

- ・ドライバーアンケート調査等の結果
- ・コネクトパーキングの検討状況
- ・防災機能に関する検討状況

【審議事項】

- ・MS調査概要

【報告事項】

ドライバーアンケート調査等の結果

- コネクトパーキング宮島において周辺施設との連携を踏まえると、以下の項目が必要機能だと想定される。
- 休憩[待機スペース]、自販機、トイレ、道路情報提供、中継作業スペース※1
(※1ドライバー交換、トレーラー・トラクター方式、スワップボディコンテナ方式を想定)

■想定される必要な機能

機能	①他事例		②コネクトパーキング宮島 周辺施設					③アンケート (R4.12)		コネクトパーキング宮島	備考
	TS (23か所)	TT (22か所)	コネクトエリア浜松	浜松SA 下り	甘日市 市事業	宮島SA 上り	宮島SA 下り	佐方SA 上り	佐方SA 下り		
宿泊	●	●			●	●				- ※	-
仮眠	●	●								●	
休憩	●	●	●	●		●	●			●	●
食堂	●	●		●	●	●	●			●	
売店	●	●		●		●	●	●	●	●	
自販機	●	●	●	●		●	●			●	●
トイレ	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●
宿泊を伴わない 入浴/シャワー	●	●		●						●	●
コインランドリー	●	●		●						-	-
道路情報提供	●			●		●	●	(ポスター掲示)	(ポスター掲示)		
事務室	●	●									
燃料給油	●	●		● (EV含)	● (EV含)	● (EV含)	● (EV含)			-	-
洗車場		●								-	-
中継作業スペース		●	●							●	
診療		●									

※ - : 選択肢がない機能

③アンケート
(R4.12)

◎ : 道路施設、中継輸送施設として必要

○ : 実績（コネクトエリア浜松）を参考

△ : 市場調査で必要性を検討

事業者・ドライバーからの要望があった機能の必要性については
周辺施設との役割分担などを踏まえて検討

※○、△については、今後管理運営の公募要件も踏まえた検討が必要。

※R4.12に実施したアンケート調査の追加ニーズ調査を実施予定。

【令和6年5月実施】アンケート調査概要

- 第2回検討会で必要な施設機能について委員の了承を得たものの、施設機能に関する意見を頂き、追加調査としてトラックドライバーへのアンケート調査を実施した。
- 各テナント企業への調査意図の説明、設問数を抑えた調査票の作成等の工夫により、103名より回答を得た。

項目

第2回検討会 | 施設機能に関するご意見

・ ゴミ箱	・ 車内で出たゴミを道路などに捨てるという問題を防ぐためにも、機能の一つにゴミ箱の設置を検討も考えられる。
・ 仮眠	・ 日帰り運転の場合、仮眠施設や泊まる場所（建物）が必要であるかどうかの整理が必要
・ 魅力的な施設機能	・ 2024年問題解決のための機能に閉じることなく、魅力的な施設機能についてコスト等を含めて議論が必要。

ご意見に対する検討基礎資料として追加ニーズ調査を実施

項目

内容

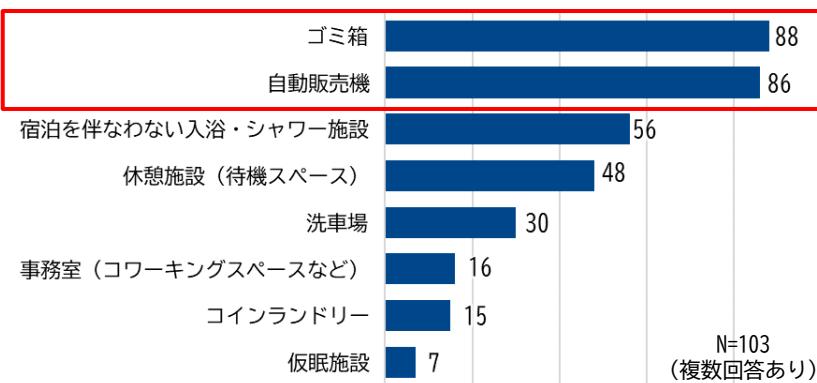
実施時期	令和6年5月：配布 6月：回収
実施対象	・ 広島市西部トラックターミナルのテナント企業に所属するドライバー（テナント企業：10社）
実施手順	・ 広島市西部トラックターミナル月例会議にて説明・配布 不参加企業に対しては個別に依頼し、説明・配布 ・ 1ヵ月後、個別に回収
実施方法	アンケート調査（紙）
回答数	N=103
配布資料・調査票	<p>【コネクトパーキングについての説明】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 中継輸送とは・ コネクトパーキング宮島 利用イメージ・ コネクトパーキング宮島 施設機能の検討状況 <p>【設問】</p> <ul style="list-style-type: none">・ コネクトパーキング宮島を利用する際に使用すると想定される施設機能・ あったらいいなと思う魅力的な施設機能・ コネクトパーキング宮島において想定される仮眠の有無（時間、場所、有料）・ 自由意見

【令和6年5月実施】アンケート調査結果報告

- 「九州～関西地方間の中継輸送を日帰りで実施し、中継地点であるコネクトパーキング宮島(CP宮島)を利用する」ことを仮定したアンケートにご協力頂き、計103名のドライバーの方から、ご回答いただいた。
- CP宮島にて使用が想定される施設機能はゴミ箱、自動販売機、魅力的な施設機能はコンビニの回答が多かった。
- 中継輸送時に仮眠を取るとの回答は約3割であり、うち約8割がトラックの中で仮眠を取りたいとの回答であった。

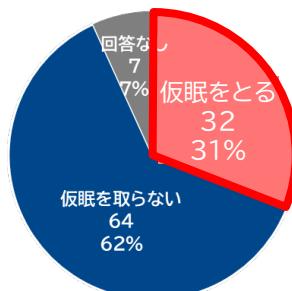
■回答結果 (回答数: 103名)

▼CP宮島を利用する際に使用すると想定される施設機能

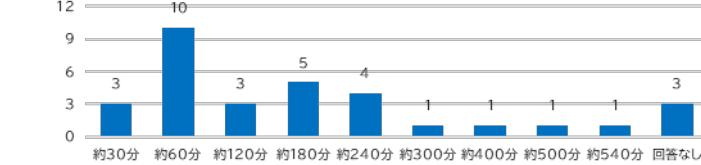


▼CP宮島を利用する際に想定される“仮眠”に関する回答

・仮眠の有無(N=103)



・仮眠時間(N=32)



・仮眠を取りたい場所(N=32)

- トラックの中: 25名 (78%)
- 仮眠施設: 7名 (22%)

・有料時の仮眠施設利用意向(N=7)

- 有料時の許容可能な料金
 - 1,000円/回
 - 2名
 - 3,000円/回
 - 1名
 - 回答なし

▼CP宮島にあったらいいなと思う魅力的な施設機能（自由記述）

魅力的な機能	回答数
コンビニ、売店	46
軽食スペース	2
飲食施設	7
駐車マス借り上げシステム、予約機能、割り当て	4
車種や利用時間による駐車マスの区分け	2
ホテル	2
女性専用スペース	1
マッサージ機等のリラクゼーション施設	1
応急処置のできる保健室	1
wi-fi	5
給油所	1
ATM	2
広いスペース	1

※一部回答を集約

▼自由意見

施設機能	積極的に設備を増やしてほしい。
	将来を見据え女性や外国人ドライバーにまで配慮した施設機能が必要だと思う。
	暖かいご飯が食べられる施設、wi-fi環境の整備。
駐車マス	仮眠施設のクリーニング、メンテナンスの徹底。
	中継輸送拠点として全然関係のない一般車や長期滞在する車の侵入を防ぐ為に完全予約制か有料制が良いと思います。バースト対策として空気圧ゲージの貸出か備え付け等。
	トラックドライバーの働き方を目的とするのなら、施設をつくっても一般車が停車したいたら意味がない。
立地	駐車に十分余裕を持ったスペースで駐車枠を作ってほしい。
	高速までの距離があるので不便。

※コネクトパーキング宮島に関するご意見を抜粋 12

【令和7年10月実施】ヒアリング結果報告

- これまで中継輸送拠点を利用される方への聞き取り調査を主として実施してきたところ。
- 中継輸送拠点の管理運営事業について、事業への関心度合いなどを確認すべく、ヒアリング調査を実施したところ、いくつか施設機能に関するご意見をいただいた。

■ヒアリングにて出た主なご意見

番号	項目	事業者ヒアリング 施設機能に関するご意見
1	運営	・運送会社の立場からすると、1,000坪以上の建物（倉庫）を整備し、貨物の積替えも含めて対応できるようになればより良い中継輸送拠点となるのではないか。
2	維持管理	・中継作業としては夜間利用が多い印象。照明などの整備は想定しているのか。
3	運営	・看板を置いて広告事業なども考えられる。実現可能かどうか検討頂きたい。



■ご意見に対する施設機能

番号	項目	事業者ヒアリング 施設機能に関するご意見に対する対応
1	運営	・想定する施設機能に「 中継作業の機能アップ施設（上屋等） 」を追加し、利便増進施設として整備余地を担保
2	維持管理	・想定する施設機能として「 照明（中継作業場所、道路施設） 」は設置予定。「 照明（利便増進施設） 」は利便増進施設として整備余地を担保
3	運営	・想定する施設機能に「 広告用看板 」を追加し、利便増進施設として整備余地を担保

アンケート調査結果等を踏まえた施設機能案

- R6.5のアンケート調査結果及び、R7.10の事業者ヒアリングを踏まえ、施設を再整理した。
- 第1回MS調査において、当該施設について、運営管理意向の確認を実施予定である。（審議事項にて再掲）

■第2回整備検討会

◎:道路施設、中継輸送施設として必要
○:実績（コネクトエリア浜松）を参考
△:市場調査で必要性を検討

機能	必要性	備考
宿泊		周辺施設と連携
仮眠施設	△	
休憩施設	○	コネクトエリア浜松に設置
食堂		周辺施設と連携
売店		周辺施設と連携
自販機	○	コネクトエリア浜松に設置
トイレ	◎	道路施設として設置
宿泊を伴わない入浴/シャワー	△	
コインランドリー	△	
道路情報提供	◎	道路施設として設置
事務室	△	
洗車場	△	
中継作業スペース（ヘッド交換、ドライバ交換）	◎	道路施設として設置
給油所		周辺施設と連携

※第2回検討会資料を参考に作成

■R6.5アンケート調査結果及び、

R7.10事業者ヒアリングを踏まえた施設機能案

◎:道路施設として必要
○:実績（コネクトエリア浜松）を参考
↑MS調査で必要性を検討
△:MS調査で必要性を検討
-:不要

機能	必要性	備考
宿泊	-	中継拠点として宿泊施設の利用を想定していないため整備不要
仮眠施設	-	中継拠点として仮眠施設の利用を想定していないため整備不要
休憩施設	○	先行事例（コネクトエリア浜松）にて実績あり。ゴミ箱設置は必須とする
食堂	△	周辺施設との機能分担を想定。MS調査で必要性を検討
売店	△	周辺施設との機能分担を想定。MS調査で必要性を検討
自販機	○	先行事例（コネクトエリア浜松）にて実績あり
トイレ	◎	道路施設として整備を想定
宿泊を伴わない入浴/シャワー	△	MS調査で必要性を検討
コインランドリー	△	MS調査で必要性を検討
道路情報提供	-	自社運行管理者からの指示を以て運行経路の指定を受けることが想定されるため、CP内で道路情報を取得する必要性が低いことから、整備不要
事務室	△	管理運営事業者が常駐する場合に必要。MS調査で必要性を検討
洗車場	△	MS調査で必要性を検討
中継作業スペース（ヘッド交換、ドライバ交換）	◎	道路施設として整備を想定
給油所	△	周辺施設との機能分担を想定。MS調査で必要性を検討
中継作業の機能アップ施設（上屋等）	△	MS調査で必要性を検討
広告用看板	△	MS調査で必要性を検討
照明	△	「照明（中継作業場所、道路施設）」は設置予定 「照明（利便増進施設）」はMS調査で必要性を検討

【報告事項】

コネクトパーキングの検討状況

駐車方式

- 駐車方式は、前進駐車・前進発車とすることで安全性・利便性向上を図る計画とした。
 - ① コネクトパーキング宮島が特定車両停留施設に位置づけられる
 - ② 道路構造令の解説と運用においても大型車は後退を避けることが望ましいとされている
 - ③ トラック協会へのヒアリング結果では、前進のみで回れた方がよいとの意見があった

■①特定車両停留施設内の通行に関する基準

①後退運転によらない通行(第1項)

特定車両停留施設には、特定車両が後退運転によらないで出口及び入口を通行できるように誘導車路又は操車場所を設けなければならない。

(趣旨)

前面道路において自動車が方向転換することは、前面道路の円滑と安全を阻害する恐れがあり、ひいては自動車の安全かつ円滑な通行を阻害する可能性がある。そのため、出入りする自動車が常に前進で出入口を通行できるよう規定している。

出典:交通拠点の機能強化に関する計画ガイドライン 附属編R3.4 P1-14を参照して加工

■③広島市西部トラック協会へのヒアリング結果※

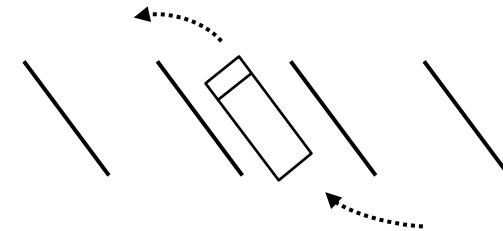
- マスの配置は問題ないと思うが、場内で転回できる余裕を持たせた方が良い。例えばセミトレーラーやダブル連結トラックを想定される場合、前進だけで回れた方が良い。
- 間違えて入庫した際に、駐車マスがなかった場合、バックで戻らないといけなくなる。その場合を含めて転回できるようにしておいた方が使いやすい。

出典:広島市西部TT駐車マスヒアリング 議事録 R6.10.15

■②道路構造令の解説と運用における”駐車の方法”

- “大型車では駐車、発車のいずれの場合でも後退を避け、前進駐車・前身発車とするのが望ましい。”

＜前進駐車・前進発進のイメージ＞



道路構造令の解説と運用 令和3年3月 日本道路協会 P672～673を参照して加工

- 60°駐車が操作性が最も良く、1台当たりの駐車所要面積が少ない。

＜駐車方式の評価＞

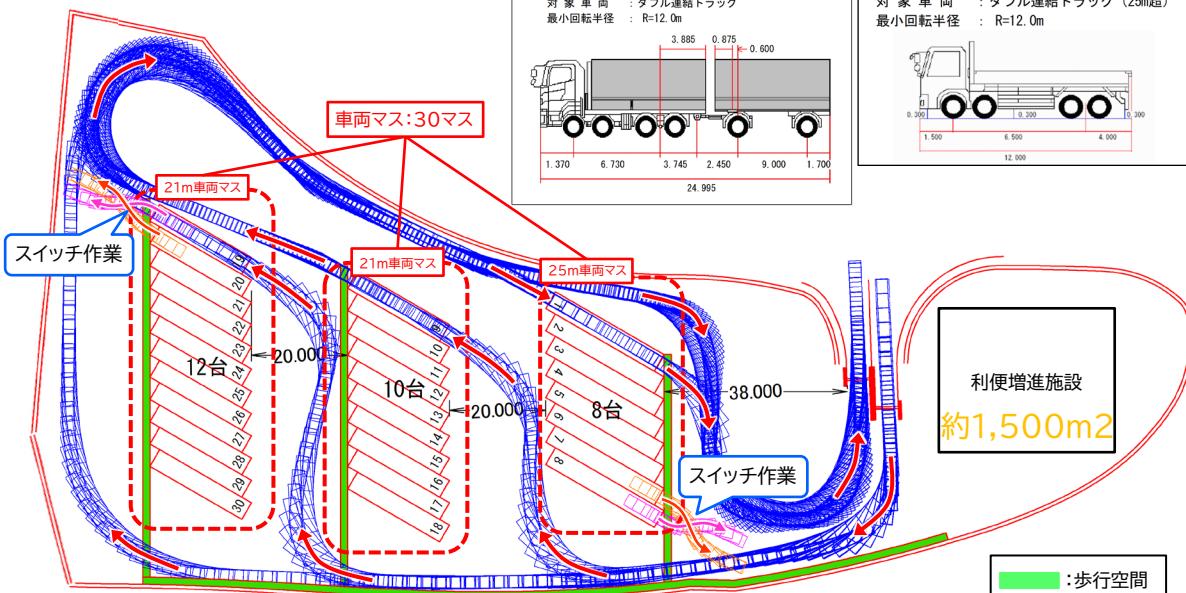
角度と方式	評価
30° 前進駐車	前進駐車のみ。車路幅は小さいが、車路方向延長に長い駐車幅を要し、1台当たりの駐車所要面積は最大。出庫の際後方の視界はかなり狭められる。
45° 前進駐車 後退駐車 交差式駐車	前進、後退ともに利用できるが、前進駐車のほうが駐車しやすいといわれている。交差式にすれば1台当たりの駐車所要面積は小さくなるが、交差駐車A型では整然として駐車が行われない限り有効性を著しくおとすそれがある。
60° 前進駐車 後退駐車	前進、後退ともに利用でき、操作性は最もよい。車路幅は大きくする必要があるが、1台当たりの駐車所要面積は少ない。
90°	前進、後退ともに利用できるが、後退駐車が一般的で安全。所要面積は最も少なくてすむが乗降の便を考慮すれば、駐車ますの幅員を0.25m程度増加しておくことが望ましい。

道路構造令の解説と運用 令和3年3月 日本道路協会 P672～673を参照して加工

マス数と施設の配置

- 駐車マス数は30マスとした。
- 駐車マスはダブル連結トラック25m車両を8台、21m車両を22台とし、駐車角度を60°でヘッド交換可能なレイアウトとした。
- 歩行空間は、最低限すれ違える幅員としてW=0.75m×2=1.5mとした。

■駐車マス配置計画図



■類似施設におけるスイッチ※作業の様子 ※ヘッド交換方式を"スイッチ"と呼称する



アクセスルート検討状況

- 山陽道からは、宮島SICまたは、廿日市ICを経由するルートにより、アクセスが可能である。
- 国道2号からは、ランプ（佐方SA付近に整備予定）を経由するルートにより、アクセスが可能である。
- アクセスルートは、ダブル連結トラックが通行可能な道路構造を前提に検討を進めているところである。
※ただし、宮島SICは、現状、車両の長さが12m以下の車両のみ通行可能である。



【報告事項】 防災機能に関する検討状況

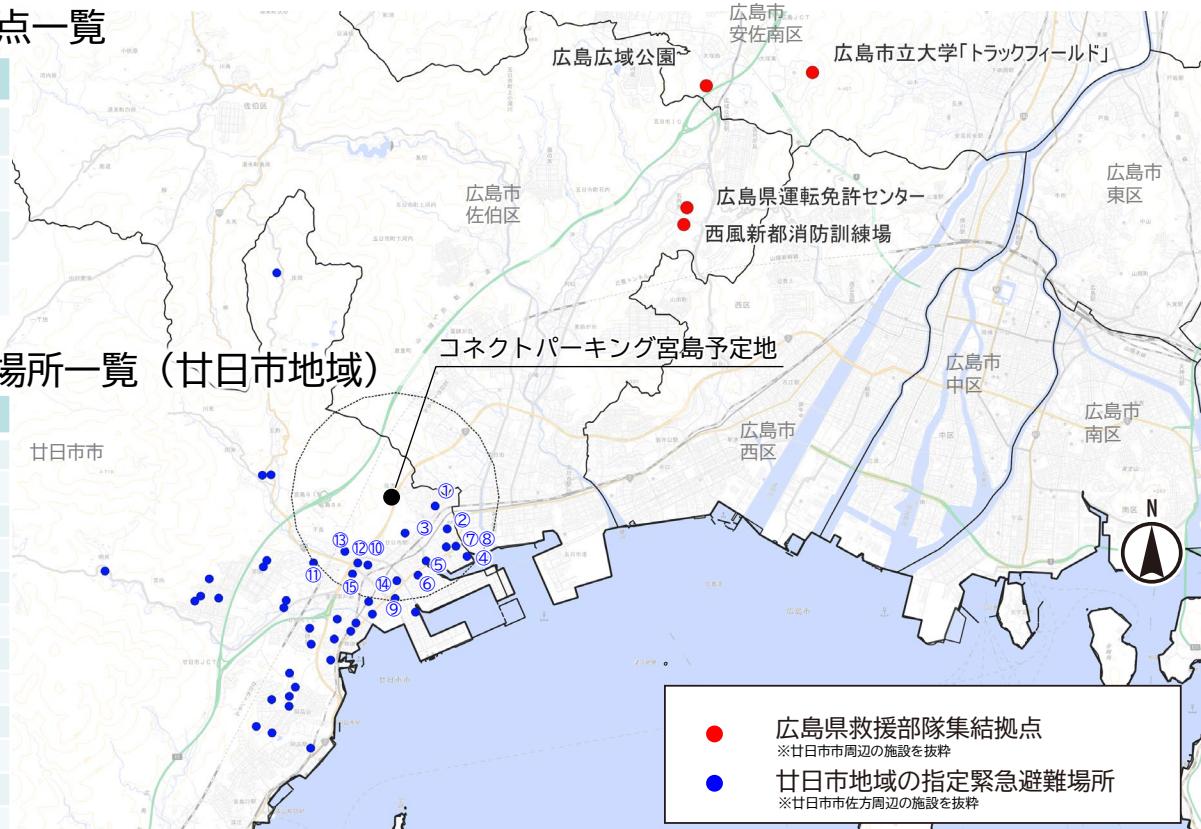
防災機能に関する検討状況 | 地域防災計画からの整理

- 広島県地域防災計画において、被災地における災害対応活動を迅速かつ効果的に実施するための救援部隊集結拠点が、廿日市市周辺に4か所指定配置されている。
- 廿日市市地域防災計画において、切迫した災害の危険から命を守るため避難するための指定緊急避難場所が、佐方SA周辺に15か所指定されている。
- コネクトパーキング宮島整備予定地の周辺に指定配置されている防災拠点や施設との機能分担を想定しているため、コネクトパーキング宮島では救援拠点・避難場所としての防災機能は想定しないが、災害時に中継輸送拠点としての機能が停止せず、継続的に運用できるための設備やBCP計画の策定等引き続き検討を進めていく。

■広島県地域防災計画における救援部隊集結拠点一覧

施設名	所在地	分類
広島県運転免許センター	広島市佐伯区	警察
広島市立大学「トラックフィールド」	広島市安佐南区	消防
西風新都消防訓練場	広島市佐伯区	消防
広島広域公園	広島市安佐南区	自衛隊

※廿日市市周辺の施設を抜粋



■廿日市市地域防災計画における指定緊急避難場所一覧 (廿日市地域)

No.	施設名	分類
①	佐方市民センター	土砂、洪水、高潮、地震、津波
②	佐方会館	土砂、洪水、高潮、地震、津波
③	佐方小学校	洪水、高潮、地震、津波
④	廿日市中学校	土砂、洪水、高潮
⑤	中央市民センター	土砂、洪水、高潮、地震、津波
⑥	廿日市小学校	土砂、高潮
⑦	桂公園	洪水、高潮、地震、津波
⑧	廿日市高等学校	土砂、洪水、高潮、地震、津波
⑨	廿日市市役所	土砂、洪水、高潮、地震、津波
⑩	平良市民センター	土砂、洪水、高潮、地震、津波
⑪	平良小学校	土砂、洪水、高潮、地震、津波
⑫	七尾中学校	土砂、洪水、高潮、地震、津波
⑬	廿日市ケアセンターそよ風	土砂、洪水
⑭	新宮中央公園	土砂、地震、津波
⑮	峰高公園	土砂、洪水、高潮、地震、津波

※廿日市市佐方周辺の施設を抜粋

広島県救援部隊終結拠点：広島県広域道路交通ビジョン・計画（令和3年5月） 第4部 2章 交通・防災拠点計画

p91：図表 広島県地域防災計画における救援部隊集結拠点一覧

廿日市地域の指定避難所：廿日市市地域防災計画(資料編・様式編) 令和6年5月

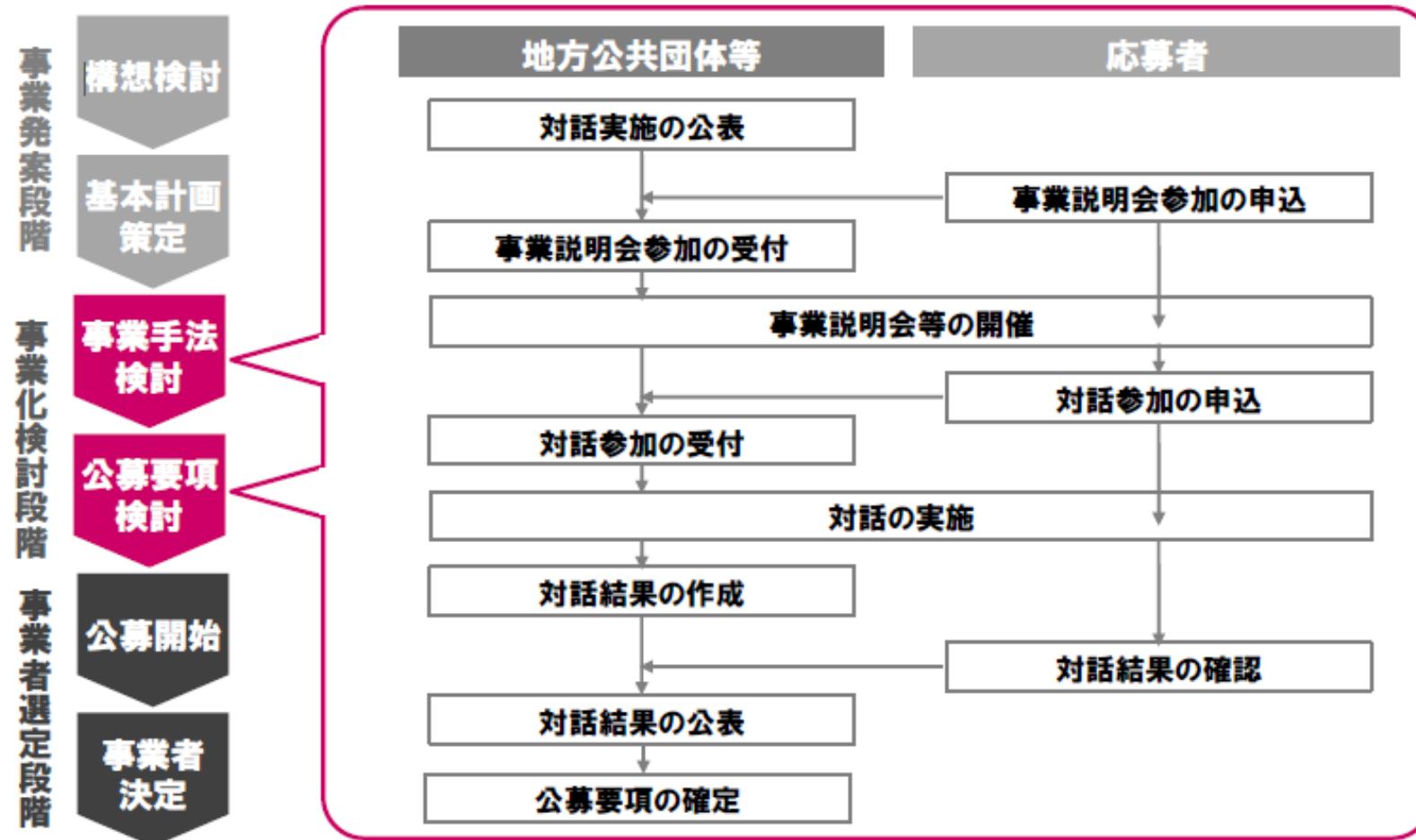
P85, 86 28 指定緊急避難場所・指定避難所一覧表

【審議事項】 MS調査概要

「マーケットサウンディング」とは

- MS（マーケットサウンディング）調査とは、PFI事業などの検討段階で、官民の対話を通じて事業内容やスキームに関する民間の意見・提案を収集し、事業検討を進める市場調査手法である。
- また、事業化検討段階で広く情報提供することで、民間事業者の参入意欲の向上や意見収集を行う狙いがある。
- 法定手続きではなく、発注主体が事業ごとに要領を作成・公表し、それに基づき実施するのが一般的である。
- 本事業では、効果的かつ効率的な維持管理・運営について、民間事業者が参画しやすい公募条件の検討を進めるために、MS調査を行う。

市場対話（サウンディング型）の手続き例



PFI事業の事業範囲

- 維持管理運営にPFI事業を採用する場合、事業の役割は以下の通りを想定。
 - 造成（土工）と舗装：直轄整備で実施する。
 - 施設整備と運営等：施設整備含むPFIを想定する。中継作業場所及び道路施設の施設整備は別事業として国が発注する方式も併せて検討中
- 今後実施するMS調査において、民間事業者の施設整備に関する可能性を確認し、PFI事業範囲を検討する。
- なお、施設配管などの敷設については、直轄工事と調整をおこなうことが可能。



※1：SPC経営管理業務
(会計事務、国への事業報告等)

※2：中継作業場所：駐車マスの路面標示等

※3：道路施設：トイレ等

※4：利便増進施設：物販施設、自販機等

※5：中継作業場所及び道路施設の施設整備は別事業として国が発注する方式も併せて検討中

コネクトパーキング宮島に関するMS調査概要

- 維持管理・運営の公募条件の検討に向けて、必要な事業範囲・内容や想定される収益性の高い機能の導入、利便増進事業の可能性についての意見を収集するために実施する。
- 基本情報、事業の利便性・収益性を向上するための提案、参画しやすい事業条件について意見を募集予定である。

項目	内容	
実施目的	<ul style="list-style-type: none">・ 維持管理・運営の公募条件の検討に向けて、必要な事業範囲・内容や想定される収益性の高い機能の導入、利便増進事業の可能性についての意見を収集するため	
対象者	<ul style="list-style-type: none">・ 事業に関心があり、主体的な事業実施が可能な民間事業者、団体等の法人。・ 1者単体又は複数者から構成されるグループによる提出も可能。	
募集内容	基本情報	業種、実績の有無 各企業の参加意欲、参加形態、役割
	本事業の利便性、収益性を向上するための提案	中継輸送拠点の基本機能・規模
		収益性向上に必要なサービス・機能・規模
		対象施設、周辺施設、類似施設との利便増進事業の展開可能性
	民間事業者が参画しやすい事業条件	事業方式に対する意見
		事業範囲に対する意見
		事業期間に対する意見
		費用負担に対する意見
		利用料金に対する意見
		運営事業に対する採算性について
		その他の事項に対する意見
	その他	国への要望、事業者公募時の情報開示の要望

コネクトパーキング宮島に関するMS調査概要

◎:道路施設として必要
○:実績(コネクトエリア浜松)を参考
←MS調査で必要性を検討
△:MS調査で必要性を検討
ー:不要

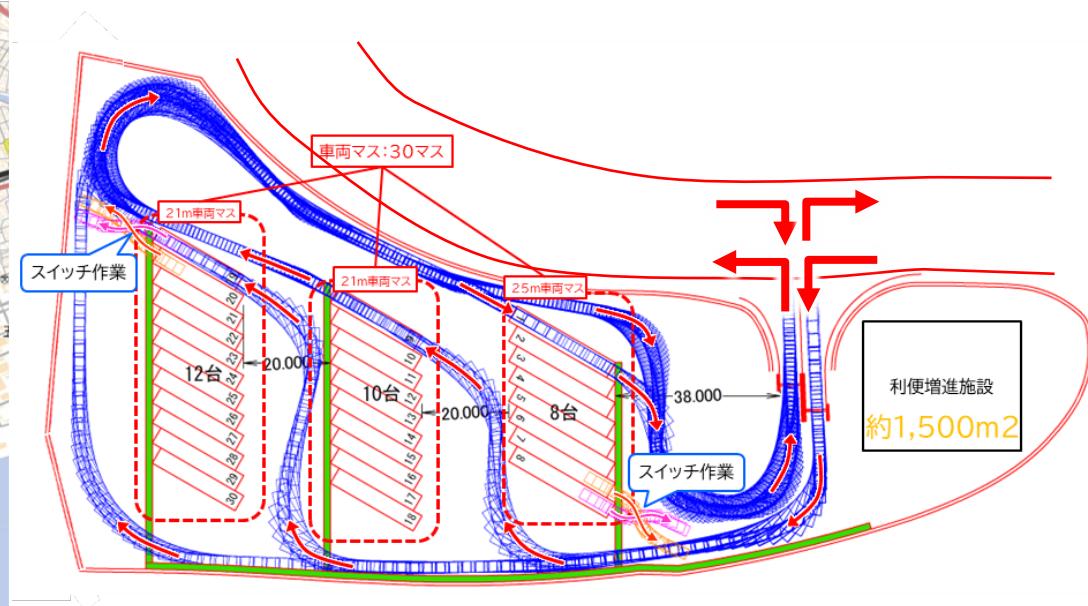
■整備施設区分

機能	必要性	備考	※周辺施設(宮島SA、佐方SA等)には車での乗り入れを想定
宿泊	ー	中継拠点として宿泊施設の利用を想定していないため整備不要。	
仮眠施設	ー	中継拠点として仮眠施設の利用を想定していないため整備不要。	
休憩施設	○	先行事例(コネクトエリア浜松)にて実績あり。先行事例(コネクトエリア浜松)にて実績あり。ゴミ箱設置は必須とする。	
食堂	△	周辺施設との機能分担を想定。MS調査で必要性を検討。	
売店	△	周辺施設との機能分担を想定。MS調査で必要性を検討。	
自販機	○	先行事例(コネクトエリア浜松)にて実績あり。	
トイレ	◎	道路施設として整備を想定。	
宿泊を伴わない入浴/シャワー	△	MS調査で必要性を検討。	
コインランドリー	△	MS調査で必要性を検討。	
道路情報提供	ー	自社運行管理者からの指示を以て運行経路の指定を受けることが想定されるため、CP内で道路情報を取得する必要性が低いことから、整備不要	
事務室	△	管理運営事業者が常駐する場合に必要。MS調査で必要性を検討。	
洗車場	△	MS調査で必要性を検討。	
中継作業スペース (ヘッド交換、ドライバ交換)	◎	道路施設として整備を想定。	
給油所	△	周辺施設との機能分担を想定。MS調査で必要性を検討。	
中継作業の機能アップ施設(上屋等)	△	MS調査で必要性を検討。	
広告用看板	△	MS調査で必要性を検討。	
照明	△	「照明(中継作業場所、道路施設)」は設置予定、「照明(利便増進施設)」はMS調査で必要性を検討	25

コネクトパーキング宮島に関するMS調査概要

■事業条件

項目	内容	備考
利便増進施設面積	約1,500m ²	第1回検討会にて審議 (R5.3.14)
駐車マス数	30マス	第2回検討会にて審議 (R6.2.20)
中継拠点施設	周辺施設との連携等※前ページ参照	第2回検討会にて審議 (R6.2.20) 第3回検討会にて審議 (R7.12.24)
アクセスルート	※左下図参照	第3回検討会にて報告 (R7.12.24)
コネクトパーキング形状	※右下図参照	第3回検討会にて報告 (R7.12.24)



4. 今後の進め方

今後の進め方について

山陽自動車道・宮島SAにおける中継輸送実証実験の実施



第1回 コネクトパーキング宮島の整備に関する検討会



(審議事項) 規約、検討事項、スケジュール 等
 コネクトパーキング宮島の整備方針(案)

整備計画策定



第2回 コネクトパーキング宮島の整備に関する検討会



(審議事項) マス数の検討
 施設機能の検討

アンケート調査



(調査内容) 施設機能 等

第3回 コネクトパーキング宮島の整備に関する検討会



(報告事項) アンケート調査結果、コネクトパーキングの検討状況
(審議事項) MS調査概要

MS調査



コネクトパーキング宮島の整備に関する検討会

(報告事項 (案)) MS調査結果
(審議事項 (案)) 施設機能の精査 等